



別所憲法9条の会

たより

2022年10月第173号

安保法制廃止・憲法改悪許さない全国署名で対話を・敵基地攻撃許さない・9条守って戦争させない

高く真っ青な空からの爽やかな秋風もつかの間、もう寒ささえ感じる晩秋めいてきました。長池公園の田んぼは、うるち米、もち米、古代米と3種の稲穂が、9体の案山子に見守られながら実りの秋を迎えております。「案山子」を「かかし」と読むのは何とも不思議ですね。元々は、獣肉を焼き焦がして串に通し地に立て鳥獣を追い払う「嗅がし(かがし)」から、かかしと言うようになり、漢字は中国の僧侶が用いた言葉を当て字に活用したそうです。田んぼの周りには萩、キバナコスモス、水引の花、畑には里芋の大きな葉とまだまだ秋の草花を楽しみながら散策出来そうです。

国葬について、岸田首相の、国会も通さず「時の政府が総合的に判断するのがるべき姿だ」と主張し続け聞く耳持たぬ姿勢に今の政権に対する不信感以上の怖さを感じます。国葬を恣意的に運用し、特定の政治家への弔意を国民に強いることにつながるからです。今後は費用も含め問題点をしっかり検証し、このような歴史の汚点にもつながりかねない国葬などあってはならないとの教訓になることを願います。



10月例会

日 時 10月 24日（月）13：30～16：00

会 場 長池公園自然館 第一会議室

内 容 テーマ 「地方自治の民主主義を考えよう」

地方自治体に深く統一教会が入り込んでいる実態。

又、地域によっては自治体首長の交代など明るいニュースもある中、どのように変化しているのかなども見てゆきましょう。

* 皆さん、それぞれ資料などもご持参ください。大歓迎！

参加費 300円

★新型コロナ感染症は、まだ感染が心配されています。

油断できません。十分気をつけて会館の指示に従いご参加ください。



9月例会報告

9月の例会は、「今日日本国憲法の存在意義を考える」などをテーマに意見交流しました。

統一協会の実態や自民党政権との関係、安倍元首相の国葬の強行に対する反対意見の多さ、ロシアのウクライナ侵略が止められない実態などなど、多くの問題を共有しながら交流しました。資料は

- ① プーチンの側近（アレクサンドル・ドゥーギン氏）の構想
- ② 統一教会の歴史
- ③ 岸・安倍三代と旧統一教会との関係
- ④ 「国葬」に関する発言（中央大宮間純一さん）
- ⑤ 前田新さんの詩「闇のレジューム」を提供頂きました。

ロシアの実態から、今後日本はどうなるか？しっかり考え、準備が必要。改憲に関しては事態を明確につかみ、我々が今後何をすればいいのかを考え行動しよう。いざとなったら逃げる方法は？などの意見や反論も。安倍襲撃事件によって政治と統一協会の関係が明らかになった事や、弁護士などの活躍に元気をもらえるのは明るい情報だ。マスコミも変化を感じるなど、様々な意見交流しました。今後の例会のテーマも相談しました。

10月のご案内

堀之内駅前での宣伝

10/10（月・休）

10：00～

ロシアのウクライナ侵略反対
改憲させない・9条守ろう

10/16（日）14：00～

NO WAR 八王子アクション
JR 八王子駅北口

10/19（水）18：30～

戦争させない
9条壊すな 19日行動

LOVE
憲法

11/3（木・休）14：00～

武力で平和はつくれない・
つなごう憲法をいかす未来へ！！

11・3 憲法大行動

国会周辺（国会正門前・議員会館前・
国会図書館前など）での集会です

主催：戦争させない総がかり行動実行委員会
9条改憲 NO 全市民アクション

11月3日は文化の日そして、日本国憲法
公布の記念すべき日です

別所の会の皆さんと一緒に参加しましょう

小田急多摩センター12時25分発

前から2両目に乘ります

振り返ると



「選挙に勝ちさえすれば何でもできる。」・実態は統一協会に頼ってきた。・

長期政権を担ってきた安倍氏は改憲を狙い、立憲主義を破壊した。アベノミクスで財政、金融もゆがめ、経済をズタズタにし、国民生活をメチャメチャにしてきた。最後は税金で国葬か。大勢の国民が反対する中で。 K・S

希望

国葬問題、ウクライナ侵攻、台湾有事、北朝鮮のミサイル発射や核使用など暗い話が多く元気が出ません。 そうした中で、憲法13条：「・・・生命、・・・に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」に配慮しつつも、国葬に反対する世論が賛成を大きく超えたことはホッとするニュースでした。全国靈感商法対策弁護士連絡会の弁護士さん達や北海道大学の「旧統一教会」を学術的に明らかにした先生の存在は、普段気づかないだけに希望を貰えるものでした。 K・Y



中高校生にあたる学年のアフガニスタンの少女たちがタリバンに登校を禁止されてから382日が過ぎた。彼女たちの希望が打ち砕かれ続けている…。10/1にはカブールで大学入学模擬試験を受けていた生徒19人が自爆攻撃で死んだ。学びたい、だけなのに。(2022.10.6)

今月の投稿欄

旧統一教会と安倍元首相の癒着関係

岸田首相が安倍元首相と旧統一教会の関係調査を拒否している中で、旧統一教会（以下、教会と略）と日本の政治や社会との関係について、安倍元首相（以下、元首相と略）の銃撃事件以後膨大な情報が溢れ出し、それは現在も続いている。私はこれら情報の一部を見聞きしただけであるが、そこから見えてくるものは教会と元首相の癒着関係である。

教会は1954年に韓国で創設され、岸元首相を媒介として日本に来たのは、まだ日韓の国交が回復する前の1959年であった。1965年に日韓基本条約が締結され、国交が回復したが、1910年の「韓国併合」に関しては両政府の主張が一致せず棚上げされたまま現在に至っている。（教会が宗教であるのか疑問があるが、ここではスペースの関係で問わない）

その後教会は日本で勢力を広げ、それに伴い過剰献金などの問題引き起こすことになった。その原因是、教会の「日本は韓国を植民地として多大の苦痛や損害を与えたのでその償いをしなければならない」という「教理」にあることが明らかとなってきた。元首相は教会がそのような組織であることを知らなかっただけではないと私は思う。

また教会も元首相が、韓国に対する植民地統治を否定し、1965年の日韓基本条約で、「日韓併合」に関する問題はすべて解決済みという考え方の持ち主であることを知らない筈はないであろう。

このように互いに相いれない立場・考えであることを承知の上で、互いに相手を利用することにそれぞれの利益を見出すという癒着関係が今日の事態をもたらしたのだと思う。教会は元首相の利用価値が大きかったので、8月12日元首相の巨大な写真を掲げて、追悼式を行ったのである。課題は多く残されている。（櫻井浩）

11月は、講演会を開催します

11月26日（土）13:30～

テーマ（仮）「ロシアのウクライナ攻撃。国際情勢そして日本の軍備強化・

改憲議論などをどう見てゆくのか？」などを予定。

★聞きたい内容など、ご希望をお寄せください。

講師 末浪靖司さんを迎えます

ジャーナリスト。日米関係、日中関係などを研究。

精力的に報道、講演活動を続ける方です。

近著（共著）「終わらない占領との決別・目を覚ませ日本」（かもがわ出版）



別所憲法9条の会ホームページ

<https://bessho9.info/>

